

レイクの森を守る会・公園緑地里親 合同活動報告会議事録

日時：2024年4月28日（日）13:00～15:00

場所：レイク公会堂

参加者：11名

<議題>

1. 森を守る会 前年度活動実績／収支報告
今年度活動計画／予算 報告

※配布資料に沿い、内容報告がされた。

2. 公園里親 前年度活動実績／収支報告
今年度活動計画／予算 報告

※配布資料に沿い、内容報告がされた。

3. 質疑応答、提案等

<質問>公園緑地里親への町の補助金5万円は増やすことはできないのか？
年間の取り組み内容に対して補助金額が少ない。

<回答>補助金額は面積で決まり、現在管理対象の公園の面積では上記の金額となる。(1㎡あたり40円)

<提案>通路部分の整備(除草シート、ウッドチップ)が必要と考える。
階段部分の定期的な補修も。

<回答>除草シート、ウッドチップは予算化済み。 順次施工していく予定。

<質問>除草シートの耐用年数何年か？

<回答>5年間 恒久的な除草対策はどうか？→撤去の問題がある。

<提案>森部分の間伐や下草刈りも必要ではないか。

<回答>現在の森を守る会の守備範囲はミヨウガ畑から展望台までのラインとしている(町との協定)。対象の範囲を増やすと、森を守る会会員の負荷が増えることになる。町の補助金が増えないのであれば、作業負荷は増やしたくない。 よって、守備範囲は現状のままとする。

<提案>自治会で脚立を購入し、住民への貸し出しはできないか。

理由：個人では使用頻度が少なく、保管場所に難儀する

<回答>レイク自治会で脚立3脚(防災備品)所有している。 内一脚を

防災備品適用から除外し、住民への貸し出しを可能とする。1回100円

＜提案＞ホタル生息湿地の水循環ポンプシステムの補修が必要

＜結論＞次回、現場で状況確認して対応を決める。

＜質問＞ホタル生息湿地の渡り板の保守交換について、今後の対応をどうするか？

＜現状＞渡り板を利用している訪問者は一定数ある。予算は年間1万円確保してあり、在庫は6枚ある。

＜結論＞必要時は保守交換する。

＜提案＞森を守る会と公園緑地里親間での予算の融通について。

＜現状＞公園緑地里親で予算が不足した場合、昨年度はもえぎ会から補填してもらった。

＜結論＞会の性格上、今後は森を守る会と公園緑地里親で予算の融通を行う。

＜確認事項＞会員名簿とチラシ配布先の差異について

＜結論＞会員の現在の状況から、チラシ配布先を訂正する。（詳細内容省略）

＜提案＞総会運用方法について、今回同様、下記内容で年一回の開催はどうか？

- ・毎年、町への報告と申請が完了する4月に実施
- ・出席依頼者は会員全員
- ・活動報告・計画は全会員に毎年報告
- ・総会結果は全会員に報告

＜結論＞会の呼称を「総会」から「活動報告会」に変更して開催する。配付資料は紙資源節約のため両面コピーとする。

＜提案＞会員の構成変化への対応方法検討が必要

＜現状＞会員数の減少と高齢化が進んでおり、今後いままでと同じ内容の活動ができなくなるのではないかと。活動内容の見直し、か（と）会員の増員が必要と思われる。

＜結論＞会の活動をPRし、会員数の増加を目指す。

WEBを使った、活動のPRと会員募集の実現性を検討する。